

評価者	共創計画部長	比留間 彰
-----	--------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	文化	施策の方針	文化活動の支援・推進
目標とすべきまちの姿	文化活動の場や機会の提供、市民の自主的文化活動や若い世代への文化活動の支援、さらに、文化施設等の連携や、市民・事業者・NPO等の連携によりさらなる文化活動の推進が図られています。文化施設は、鎌倉市公共施設再編計画基本方針に基づき整備され、文化資源が適切に整理・保存・活用されています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	22.9%	平成30年度(2018年度)	17.5%	平成29年度(2017年度)	20.2%
	平成28年度(2016年度)	18.3%	平成27年度(2015年度)	18.9%		

(2) 妥当性

令和元年度(2019年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	5.9%	0.3%	0.0%
ちょうどよい	11.8%	34.4%	0.6%
効果不十分	13.0%	3.0%	2.7%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成30年度(2018年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	4.1%	1.0%	0.2%
ちょうどよい	12.1%	41.8%	0.5%
効果不十分	10.7%	2.6%	5.0%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成29年度(2017年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	8.8%	1.4%	0.2%
ちょうどよい	12.1%	32.3%	1.4%
効果不十分	11.6%	1.6%	4.2%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成28年度(2016年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	3.6%	1.2%	0.2%
ちょうどよい	10.5%	41.4%	0.5%
効果不十分	11.0%	3.4%	5.3%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成27年度(2015年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	4.3%	1.4%	0.0%
ちょうどよい	10.3%	39.5%	0.7%
効果不十分	10.9%	4.1%	3.7%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	8.0%	46.4%	16.6%	29.0%
平成30年度(2018年度)	13.2%	52.4%	11.2%	23.1%
平成29年度(2017年度)	9.5%	49.0%	16.2%	25.3%
平成28年度(2016年度)	13.5%	51.3%	11.4%	23.8%
平成27年度(2015年度)	9.9%	52.5%	12.0%	25.6%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

- ① 鎌倉芸術館の大ホール天井改修の施工を計画どおり進めることにより、平成29年から手掛けている施設の大規模修繕を完了させる。(共創-22)
 ② 鎌倉版フィルムコミッションを早期に制度構築し、鎌倉独自の新たな文化の発信を目指す。(共創-20)
 ③ 市民が文化に触れる機会を提供するとともに、市民の文化活動の場や機会の提供、自主的な活動の支援を行う。(共創-20)
 ④ アーティスト(特に若い世代)への文化活動支援を行う。(共創-20)
 ⑤ 指定管理者との連携により適正な施設の管理運営を図るとともに、協働イベントやPRの実施などで各文化施設間のネットワークを強化し、利用者拡大を目指す。(共創-21、22、24、25)

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

- ②、④ 市民が文化に触れることができる機会を提供するとともに、市民の文化活動の場や機会の提供、自主的な活動を支援し、また、アーティストの文化活動を支援することで、文化活動の推進を図る。(共創-20)
 ①、③、⑤ 文化施設の適正な維持管理を行うことにより、文化資源が適切に整理・保存・活用される。(共創-21、22、24、25)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		職員数(人)		法定受託 事務	今後の 方向性	
整理番号	事業名	令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元 年度 (2019 年度)	平成 30年度 (2018年 度)		事業内容	予算規模
共創-20	文化行政推進事業	10,591	8,914	2.5	1.5	無	a	B
共創-21	川喜多映画記念館等管理運営事業	37,916	36,318	0.7	0.7	無	b	B
共創-22	鎌倉芸術館管理運営事業	545,761	365,752	2.8	2.8	無	b	B
共創-23	美術館建設準備事業	2,485	2,190	0.1	0.1	無	b	B
共創-24	籾木清方記念美術館管理運営事業	48,548	68,496	0.7	0.7	無	b	B
共創-25	文学館管理運営事業	77,398	74,022	0.7	0.7	無	b	B

(4) 主な実施内容

- 【主な実施内容】**
 ① 市民文化祭の開催や文化協会等への助成などを行うことで、文化活動の場や機会を提供し、市民の自主的な文化活動を支援した。(共創-20)
 ② 鎌倉市制80周年を記念し、記念式典の実施やNHKとの共催によるNHKのど自慢を開催することで、市民とともに市制80周年を祝福するとともに、未来を担う次世代に向け継承する取り組みを行った。(共創-20)
 ③ 文化施設の指定管理者制度による円滑な管理運営を実施するとともに、各施設の維持に努めることで文化資源の適切な整理・保存・活用を行った。(共創21、22、24、25)
 ④ 他部署や市以外の文化施設と定期的に会議を開催し、情報や課題を共有するとともに、連携した取り組みを実施するなど、施設間のネットワークの強化を図った。(共創21、22、24、25)

【実施できなかった事業とその理由等】

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、鎌倉子ども館の発表会は次年度へ順延し、若手アーティストの作品展示・ワークショップは中止とした。(共創-20)
 ② 鎌倉芸術館個別空調機修繕については、新型コロナウイルスの影響により製品の調達に間に合わず、年度内に修繕を完了することができなかったため、翌年度に繰り越した。(共創-22)
 ③ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月末から文化施設を臨時休館することとなり、予定していた施設の事業が実施できなかった。(共創-21、24、25)

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善

<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

・文化施設の維持については繰越した事業や臨時休館があったものの、指定管理者による円滑な施設運営が図られたことから、効率性を適切とした。(共創-21、22、24、25)
 ・市民文化祭の開催やようこそ先達事業など文化推進事業を実施し、市民が文化に触れ合う機会を創出することができた。また、文化施設の適切な維持管理に努め、文化資源の発掘・整理・活用・情報発信した。しかしながら、市民等の文化活動の推進を充実させるには、更なる充実が求められることから妥当性、有効性を要改善とした。(共創-20、21、22、24、25)
 ・市民文化祭の開催や文化協会等への助成により文化活動への参加を促進するとともに、施設公開日(オープンデイ)の実施により、多くの人に身近に施設に接していただくなど、特定の利用者に限らず施設をご利用いただけるよう取り組んだことから、公平性を適切とした。(共創-20、21、22、24、25)

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	共創-20	事業名	文化行政推進事業								
指標の内容	観覧者等数(年間)					単位	人	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
より多くの市民等に文化芸術に親しんでもらうため。(R1実績内訳:文化祭31,597、ようこそ先達1,170、子ども表彰7、80周年記念式典829、80周年記念事業2,689)	目標値	29,500.0	29,500.0	29,500.0	29,500.0	29,500.0	29,500.0				
	実績値	42,481.0	43,281.0	35,354.0	35,606.0	34,896.0	36,292.0				
	達成率	144.0%	146.7%	119.8%	120.7%	118.3%	123.0%				
整理番号	共創-21	事業名	川喜多映画記念館等管理運営事業								
指標の内容	来館者数					単位	人	指標の傾向	↘	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
より多くの市民等に施設を利用してもらうため	目標値	24,050.0	25,000.0	25,000.0	25,000.0	25,000.0	25,000.0				
	実績値	23,675.0	27,125.0	27,382.0	20,973.0	22,385.0	20,390.0				
	達成率	98.4%	108.5%	109.5%	83.9%	89.5%	81.6%				
整理番号	共創-22	事業名	鎌倉芸術館管理運営事業								
指標の内容	施設利用率					単位	%	指標の傾向	→	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
鎌倉市の芸術文化の拠点である鎌倉芸術館の機能を十分に発揮できるようにするため。	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0			平成29年1~9月は大規模修繕のため休館 平成31年(2019年)3月~令和元年(2019年)12月は修繕のため大ホールのみ利用休止	
	実績値	90.5	88.0	88.6	86.1	83.0	81.2				
	達成率	106.5%	103.5%	104.2%	101.3%	97.6%	95.5%				
整理番号	共創-24	事業名	鍋木清方記念美術館管理運営事業								
指標の内容	来館者数					単位	人	指標の傾向	↘	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
より多くの市民等に施設を利用してもらうため	目標値	28,500.0	25,000.0	25,000.0	25,000.0	25,000.0	25,000.0				
	実績値	22,272.0	29,737.0	23,633.0	22,012.0	22,444.0	20,482.0				
	達成率	78.1%	118.9%	94.5%	88.0%	89.8%	81.9%				
整理番号	共創-25	事業名	文学館管理運営事業								
指標の内容	来館者数					単位	人	指標の傾向	↘	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
より多くの市民等に施設を利用してもらうため。	目標値	100,000.0	100,000.0	100,000.0	100,000.0	100,000.0	100,000.0				
	実績値	110,046.0	112,066.0	103,631.0	101,052.0	100,672.0	78,400.0				
	達成率	110.0%	112.1%	103.6%	101.1%	100.7%	78.4%				